

きている状況にある。こうした形が全県下に徹底されるまで、“あづま号”の巡回はねばり強く続けられなければならないであろう。

本年度の各コースの利用状況は〔表12〕のとおりであり、市町村別利用状況

巡回回数、人口密度、それぞれの市町村の運用方法等によって冊数の差はあるが、総体的には昨年とはあまり変りない。

市町村名	駐車場数	団体数	貸出冊数	市町村名	駐車場数	団体数	貸出冊数	市町村名	駐車場数	団体数	貸出冊数
福島市	14	37	12,979	浅川町	1	1	802	本郷町	1	1	109
飯町町	4	16	1,134	玉川村	2	2	330	会津高田町	1	7	1,364
川俣町	2	4	482	石川町	1	1	171	湯川村	1	1	253
伊達町	5	12	1,423	古殿町	1	1	300	昭和村	1	1	229
桑折町	3	12	977	平田村	3	4	1,000	下郷町	1	1	500
国見町	8	20	1,779	塙町	1	1	566	田島町	1	1	54
保原町	2	2	485	矢祭町	1	1	181	館岩村	1	1	102
梁川町	2	4	253	東村	1	1	501	檜枝岐村	2	2	400
霊山町	3	3	778	中島村	1	2	435	伊南村	1	1	1,924
月館町	2	2	723	泉崎村	2	2	536	南郷村	1	1	590
安達町	2	3	632	矢吹町	1	1	218	只見町	3	3	1,071
二本松市	8	21	3,759	西郷村	2	2	589	飯館村	1	1	1,957
大玉村	2	5	2,077	表郷村	1	2	924	原町市	1	4	681
本宮町	6	32	3,371	白河市	1	9	353	相馬市	2	2	5,546
白沢村	2	3	452	河東町	2	2	820	鹿島町	1	1	306
岩代町	4	13	2,160	西会津町	5	10	1,589	新地町	2	10	692
東和町	2	4	767	高郷村	3	3	433	浪江町	3	4	478
小野町	1	1	869	山都町	1	1	222	葛尾村	1	1	210
滝根町	3	5	1,266	塩川町	1	1	330	双葉町	1	1	108
大越町	3	4	609	喜多方市	1	1	1,029	大熊町	1	1	440
船引町	1	1	360	北塩原村	4	6	1,543	富岡町	1	1	317
都路村	3	4	1,101	北会津村	1	1	327	楢葉町	1	1	90
常葉町	2	2	320	三島町	1	1	335	広野町	1	1	100
三春町	2	4	784	柳津町	1	1	311	いわき市	2	2	785
岩瀬村	3	4	895	会津坂下町	1	1	175				
長沼町	2	2	553	新鶴村	1	1	368				

2 親子読書文庫

年々僅かずつ文庫の数を増やしてきたが、今年度は、文庫数はそのままにして、内容の更新、補充を行いながら、文庫の受入先をなるべく、地域のボランティアにおろして、その市町村の関係者と協力して運用するという方向づけを行った。

その結果、地域文庫22、小学校7、公民館2の計31文庫、16,000冊の図書を運用した。本来こうした文庫は読書施設関係者が行わなければならないことではあるが、自らの力不足故にボランティアの手に委ねているという姿になっている。然し配本のたびに、県立図書館と市町村の関係者、それに実際に運用するボランティアの母親達が、運用上の問題点について、話し合いを行い、励し合うことによって、

図書館が当初めざした方向で活発に運用されるようになってきた。これらの文庫の外に県下には更に多くの母親達の手による文庫が数多くあるが、これらはすべて、母親達の子どもの健やかな成長を願う善意によるものであって、図書館関係者は勿論のこと、教育行政に携わるものも、その善意にすぎるだけでなく、もっと積極的な方策を講しなくてはならないと、配本のたびに思われる。“3年をひとつの目安として、あとは市町村の手で実施してほしい”という図書館の意図も、なかなか実現までは道のりが遠いようである。本年度の実施先は次のとおりである。

県北	国見町	国見町親子読書文庫
		桑の実親子読書文庫
	保原町	ぞうさん文庫
	白沢村	糠沢小学校